

## 鳥を知ろう！自然をみつめよう！

明石市立大観小学校3年生

### はじめに

大観小学校では、昨年度より総合的な学習の時間を使って、「鳥を知ろう！ 自然をみつめよう！」のテーマのもと、環境体験学習に取り組んできました。今年度は校区内を流れる明石川・明石川河口で見られる野鳥の生息について学習を進めてきました。春・夏・秋・冬には、「どんな野鳥が飛んでくるのか？」「どんな様子か？」等観察・調査活動をしてきました。また、野鳥の餌となる虫や草花の様子についても学んできました。このような活動を通して野鳥や生き物を取り巻く自然環境について理解を深め、校区のよさに気づかせたいと取り組んできました。

### 調査方法

1学期…「野鳥について知ろう！身近な野鳥とふれ合おう！」の合い言葉のもと、まず、「明石のはらくらぶ」の丸谷さんからアオサギが翼を広げた実物大の図等を使って、野鳥についての現状を知りました。そして、双眼鏡と探検バックを持って、明石川・明石川河口へ出かけていき、アオサギやカワウが川にいる様子を観察しました。そして、「明石川のどこにいたのか？」「どんな様子だったのか」を明石川マップや観察カードに書きました。また、アオサギの足跡を見つけその足跡から、アオサギがどんな歩き方をしているのかを目で確かめることができました。



《 明石川のカワウ 》

《 観察・調査する子どもたち 》

《 明石川のアオサギ 》

2学期…「1学期に比べて野鳥の種類や数に変化があるのだろうか」の疑問を持ちながら、再び双眼鏡と探検バックを持って、明石川・明石川河口の観察・調査に出かけていきました。

アオサギが川に顔をつっこんで魚を捕まえたところや飛び立つ時に大きな羽を広げたところ、カワウが川の中に潜ったところ、岩の上で大きく羽を広げているところ等を観察し驚きと感動を得ることができました。その後、人と自然の博物館の遠藤先生からカワウの生態について詳しく教えていただく機会を得ました。寝るときや子育ての時にだけ群れることや、繁殖期には羽の色が変わることなどカワウについてより深く知ることができました。

また、明石川・明石川河口に行く途中の河原で虫や草花もたくさん見つけました。サポーターの方から虫や草花の実が野鳥の餌になり、生き物のつながりである『命のサイクルになっている。』ことを教えてもらいました。

### まとめ

自分たちの暮らす校区の野鳥の観察・調査活動を通して、地域の自然環境とふれ合い、そのよさを再発見できたと実感できました。さらに、「野鳥も人も自然のなかま」であることへの理解を深めるとともに、そのなかまと仲良くくらししていくには、どうすればいいのか？そのため自分たちにできることは何か？を考えるよい機会になりました。